

しごと・くらしサポートセンター尼崎（南・北）の相談実績

令和2年8月

しごと・くらしサポートセンター尼崎（南・北）

1. 新規相談について

10万人あたり/月
平均値

新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
H29														
相談件数	75	98	65	63	84	57	46	61	42	63	66	96	816	全国 14.9人
北部										41	48	68	157	尼崎 14.7人
南部										22	18	28	68	
平均相談件数 (/日)	3.8	4.9	3.0	3.3	3.8	2.9	2.2	3.1	2.0	3.3	3.5	4.6	3.3	
H30														
相談件数	101	94	87	82	86	86	81	80	60	93	101	81	1,032	全国 15.5人
北部	66	63	48	46	58	52	44	46	37	57	61	44	622	尼崎 18.6人
南部	35	31	39	36	28	34	37	34	23	36	40	37	410	
平均相談件数 (/日)	5.1	4.5	4.1	3.9	3.7	4.8	3.7	3.8	3.2	4.4	5.3	4.1	4.2	
H31 (R1)														
相談件数	70	92	93	119	77	99	86	59	66	85	86	143	1,075	全国 集計中
北部	39	55	61	71	40	65	48	29	40	56	62	76	642	尼崎 19.4人
南部	31	37	32	48	37	34	38	30	26	29	24	67	433	
平均相談件数 (/日)	3.5	4.4	4.4	5.7	3.4	5.5	3.9	2.8	3.5	4.1	4.5	7.2	5.9	

2. 相談経路について

(新規相談のうち、関係機関から紹介を受け相談に至ったものを抽出)

平成29年度			平成30年度			平成31年度(令和元年度)		
庁内関係機関	件	%	庁内関係機関	件	%	庁内関係機関	件	%
	150	18.7/a		180	17.6/a		178	16.7/a
1 福祉事務所(生活保護担当)	45	30/a	1 市民相談	42	23.3/a	1 福祉事務所(生活保護担当)	70	39.3/a
2 市民相談	30	20/a	2 福祉事務所(生活保護担当)	41	22.8/a	2 市民相談	34	19.1/a
3 保健センター(地域保健)	12	8/a	3 保健センター(地域保健)	16	8.9/a	3 しごと支援課	14	7.9/a
4 国保年金課	11	7.3/a	4 こども家庭支援課	12	6.7/a	4 障害者支援課	13	7.3/a
5 こども家庭支援課	10	6.7/a	5 しごと支援課	11	6.1/a	5 地域保健課	11	6.2/a
6 しごと支援課	9	6/a	6 障害福祉課・障害者支援課	11	6.1/a	6 こども福祉課	6	3.4/a
7 家庭児童相談員・SSW	7	4.7/a	7 支所(保健・福祉申請受付)	9	5/a	7 こども相談支援課	6	3.4/a
8 障害福祉課・障害者支援課	7	4.7/a	8 国保年金課	8	4.4/a	8 婦人相談	6	3.4/a
9 税務管理部	7	4.7/a	9 婦人相談	6	3.3/a	9 税務管理部	4	2.2/a
10 地域福祉担当	4	2.7/a	10 福祉課	5	2.8/a	10 包括支援担当	2	1.1/a
11 保健所	3	2/a	11 家庭児童相談員・SSW	4	2.2/a	11 コールセンター	2	1.1/a
12 高齢介護課・包括支援担当	1	0.7/a	12 住宅管理担当	3	1.7/a	12 国保年金課	2	1.1/a
13 健康支援推進担当	1	0.7/a	13 阪急塚口サービスセンター	3	1.7/a	13 支所(保健・福祉申請受付)	2	1.1/a
14 福祉医療課	1	0.7/a	14 福祉医療課	2	1.1/a	14 介護保険事業担当	1	0.6/a
15 婦人相談	1	0.7/a	15 保健所	2	1.1/a	15 後期高齢者医療制度担当	1	0.6/a
16 消費生活センター	1	0.7/a	16 包括支援担当	1	0.6/a	16 阪急塚口サービスセンター	1	0.6/a
	件	%	17 税務管理部	1	0.6/a	17 福祉医療課	1	0.6/a
庁外関係機関	125	15.6/b	18 消費生活センター	1	0.6/a	18 住宅管理担当	1	0.6/a
	件	%	19 生活支援担当	1	0.6/a	19 疾病対策課	1	0.6/a
	125	11.9/b	20 コールセンター	1	0.6/a			
	件	%		件	%	庁外関係機関	件	%
1 ハローワーク	58	46.4/b	1 ハローワーク	36	28.6/b	1 ハローワーク	31	24.4/b
2 社会福祉協議会(貸付)	20	16/b	2 社会福祉協議会(貸付)	21	16.7/b	2 地域包括支援センター	21	16.5/b
3 地域包括支援センター	8	6.4/b	3 地域包括支援センター	16	12.7/b	3 社会福祉協議会(貸付)	18	14.2/b
4 議員	7	5.6/b	4 議員	13	10.3/b	4 議員	14	11/b
5 他市	5	4/b	5 医療機関	6	4.8/b	5 社会福祉協議会(貸付・権利擁護以外)	6	4.7/b
6 医療機関	4	3.2/b	6 社会福祉協議会(貸付・権利擁護以外)	5	4/b	6 他市	5	3.9/b
7 介護事業所	4	3.2/b	7 介護事業所	4	3.2/b	7 介護事業所	5	3.9/b
8 障害者就労支援事業所	3	2.4/b	8 障害者就労支援事業所	3	2.4/b	8 医療機関	4	3.1/b
9 法テラス・弁護士(会)・司法書士(会)	3	2.4/b	9 障害者支援事業所	3	2.4/b	9 障害者就労支援事業所	3	2.4/b
10 警察	3	2.4/b	10 保護観察所	3	2.4/b	10 不動産・保証会社	3	2.4/b
11 社会福祉協議会(貸付・権利擁護以外)	2	1.6/b	11 他市	3	2.4/b	11 地方検察庁	2	1.6/b
12 児童相談所	1	0.8/b	12 市営住宅(南・北)管理センター	2	1.6/b	12 保護観察所	2	1.6/b
13 若者サポートステーション	1	0.8/b	13 女性センター・トレピエ	2	1.6/b	13 NPO・ボランティア団体	2	1.6/b
14 民生委員	1	0.8/b	14 警察	2	1.6/b	14 民生委員	2	1.6/b
15 NPO・ボランティア団体	1	0.8/b	15 家主	2	1.6/b	15 大学の相談室	2	1.6/b
16 一般企業	1	0.8/b	16 いきがいしごとサポートセンター	1	0.8/b	16 女性センター・トレピエ	2	1.6/b
17 ジョブカフェ	1	0.8/b	17 障害者就業・生活支援センター	1	0.8/b	17 市営住宅(南・北)管理センター	1	0.8/b
18 家主等	1	0.8/b	18 民生委員	1	0.8/b	18 消費生活センター	1	0.8/b
19 刑務所	1	0.8/b	19 後見人	1	0.8/b	19 兵庫県ひきこもり支援室	1	0.8/b
			20 NPO・ボランティア団体	1	0.8/b	20 損害保険会社	1	0.8/b
						21 地域若者サポートステーション	1	0.8/b

☑庁外関係機関からの紹介で、平成31年度(令和元年度)に新しく加わったものは、「地方検察庁」、「大学の相談室」、「兵庫県ひきこもり支援室」、「損害保険会社」がある。

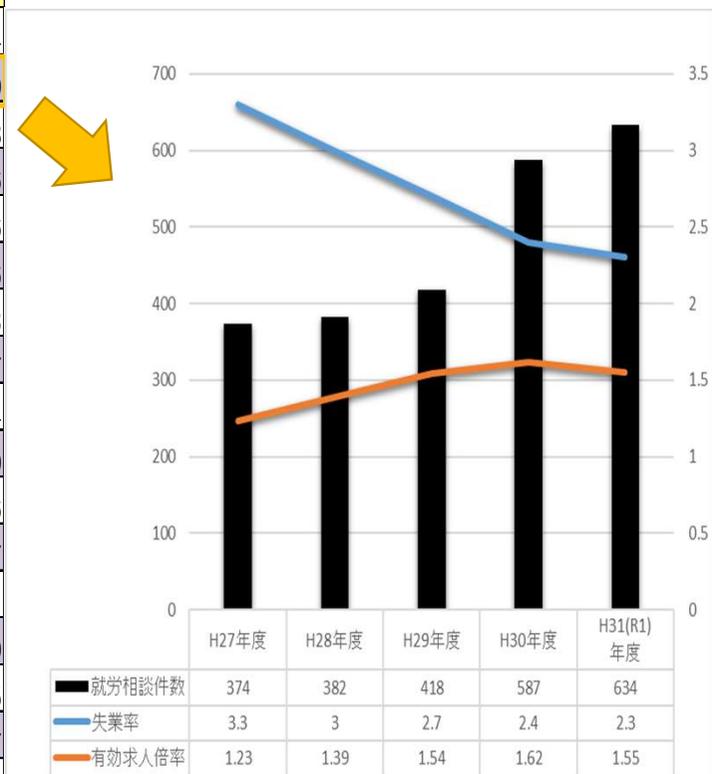
☑出所後に住むところや仕事がなく相談につながったケース、在学中に、配慮のあるアルバイト先を探すため、大学に相談してサポートセンターへつながったケース、ひきこもりの子どもの相談を機に、親自身の仕事の相談でサポートセンターにつながったケースなどがある。

3. 相談内容について

	H29	
	相談内容	件数 割合 (%)
1 収入・生活費のこと	499	61.2
2 仕事探し・就職について	418	51.2
3 病気や健康・障害のこと	199	24.4
4 家賃やローンの支払いのこと	184	22.5
5 住まいについて	181	22.2
6 税金や公共料金の支払いについて	92	11.3
7 家族との関係について	67	8.2
8 債務について	56	6.9
9 ひきこもり・不登校	38	4.7
10 仕事上の不安やトラブル	37	4.5
11 その他	36	4.4
12 介護のこと	33	4.0
13 食べるものがない	30	3.7
14 子育てのこと	21	2.6
15 DV・虐待	12	1.5
16 地域との関係について	9	1.1
相談内容の合計数	1,912	100
1人あたりの相談内容数	2.3	
相談者数(人)	816	

	H30	
	相談内容	件数 割合 (%)
1 収入・生活費のこと	647	62.7
2 仕事探し・就職について	587	56.9
3 病気や健康・障害のこと	364	35.3
4 住まいについて	258	25.0
5 家賃やローンの支払いのこと	253	24.5
6 家族との関係について	159	15.4
7 税金や公共料金の支払いについて	109	10.6
8 仕事上の不安やトラブル	93	9.0
9 債務について	91	8.8
10 ひきこもり・不登校	83	8.0
11 その他	67	6.5
12 子育てのこと	52	5.0
13 介護のこと	48	4.7
14 食べるものがない	48	4.7
15 DV・虐待	26	2.5
16 地域との関係について	15	1.5
相談内容の合計数	2,900	100
1人あたりの相談内容数	2.8	
相談者数(人)	1,032	

	H31(R1)	
	相談内容	件数 割合 (%)
1 収入・生活費のこと	660	61.4
2 仕事探し・就職について	634	59.0
3 家賃やローンの支払いのこと	299	27.8
4 病気や健康・障害のこと	286	26.6
5 住まいについて	275	25.6
6 家族との関係について	178	16.6
7 税金や公共料金の支払いについて	165	15.3
8 ひきこもり・不登校	104	9.7
9 仕事上の不安やトラブル	101	9.4
10 その他	65	6.0
11 債務について	60	5.6
12 介護のこと	50	4.7
13 食べるものがない	38	3.1
14 子育てのこと	33	2.0
15 地域との関係について	21	3.5
16 DV・虐待	7	0.7
相談内容の合計数	2,976	100
1人あたりの相談内容数	2.8	
相談者数(人)	1,075	



※出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」
総務省「労働力調査」

4. 就労支援について

	H29	H30	H31(R1)
就労支援開始者数（人）	201	301	260
新規就労・増収者数（人）※	161	205	226
就労・増収率（%） （新規就労・増収者数/就労支援開始者数）	80.1	68.2	87.0
職業紹介件数（件）※	166 （うち保護受給者35）	304 （うち保護受給者46）	286 （うち保護受給者数65）
マッチング件数（件）※	91 （うち保護受給者17）	153 （うち保護受給者25）	155 （うち保護受給者数36）
マッチング率（%） （マッチング件数/職業紹介件数）	54.8	50.3	54.2

※しごと・くらしサポートセンターから職業紹介を受けた人のみ対象（ハローワークからの紹介や自主的に就職した人は除く）。

どういう職種の仕事を紹介し、採用されているか・・・

順位	職業分類	紹介数	採用数	採用率
1	軽作業員	75	39	52%
2	警備員	45	28	62%
3	ビル・建物清掃員	38	23	61%
4	調理人	28	9	32%
5	他に分類されない運搬・清掃・包装等の職業	17	12	71%
6	乗用自動車運転手	16	11	69%
7	受付・案内事務員	5	3	60%
8	総合事務員	5	0	0%
9	施設介護員	5	4	80%
10	パン・菓子製造工	5	4	80%

※平成31年度の数値。順位は紹介数順で上位10番目までを抜粋。

年齢、性別、雇用形態別の就職実績

年齢	性別	雇用形態	H29	H30	H31(R1)	合計
10代	男	正規	0	0	0	0
		非正規	1	2	4	7
	女	正規	0	0	0	0
		非正規	0	3	3	6
20代	男	正規	5	0	3	8
		非正規	12	17	19	48
	女	正規	1	1	3	5
		非正規	8	19	11	38
30代	男	正規	4	6	4	14
		非正規	6	23	24	53
	女	正規	3	4	2	9
		非正規	12	21	18	51
40代	男	正規	4	11	8	23
		非正規	27	36	33	96
	女	正規	6	3	4	13
		非正規	15	19	19	53
50代	男	正規	5	8	6	19
		非正規	28	20	40	88
	女	正規	0	1	4	5
		非正規	19	35	25	79
60代	男	正規	1	3	5	9
		非正規	16	27	33	76
	女	正規	1	0	0	1
		非正規	17	15	23	55
70代 Over	男	正規	0	0	0	0
		非正規	9	10	20	39
	女	正規	0	0	0	0
		非正規	9	4	6	19
合計	男	正規	19	28	26	
		非正規	99	135	173	
	女	正規	11	9	13	
		非正規	80	116	105	

※しごと・くらしサポートセンターを利用した、すべての就職者が対象（ハローワークからの紹介や自主的に就職した人も含む）。

☑マッチング率、就労・増収率が増加。

：求人開拓の際に重視するポイントを、事業所の数を増やすことから、より個人の希望に見合った条件の求人を開拓することにシフトさせており、このことがマッチング率、就労・増収率の増加につながっていると推測される。

一方で、事業所の数にも限りがあること、紹介した人が職場に定着することにより、自然と求人の枠も埋まっていくことから、紹介できる求人の枠を継続して確保していくことを考慮し、相談者のレベルに応じた求人を紹介する「入り口部分」での住み分け、就労後にも相談者にステップアップを促すなど、「就職後の就労支援」に力を入れていく必要があります、就労定着＝支援終結の在り方を見直すことも必要である。 **課題**

☑軽作業、警備、清掃が上位を占める。

：年齢制限も緩く、未経験でも採用される可能性が高いため、紹介しやすい。一方で総合事務員（経理や総務など会社での事務作業）は採用難易度が高い。

☑非正規職への就職が多い。

：男性、女性ともに50代の非正規職への就職が最も多い。正規、非正規の別では男性、女性共に非正規が圧倒的に多く、H31(R1)では、男性は6.7倍、女性は8倍の差がある。